

CO-DO30の進め方

- 「G30」の取組のような多様な市民参加による環境行動の展開が横浜の大きな魅力
- 2009年に開港150周年という横浜にとって大きな節目



脱温暖化行動を全市的な運動として市民、企業が主体的に動けるよう、横浜市はコーディネーターとしての役割を明確にしながら、脱温暖化に取り組む市民、NPO、地域、企業を、徹底的に支持し、支援していきます！

1 推進本部の設置

市に推進本部を設置するとともに、各区に推進組織を設置し、地域における行動を推進します。早急に施策・事業実施の工程表を作成していきます。

2 施策の具体化に向けた議論の場づくり

脱温暖化社会のあるべき姿(目標)を共有するため、さらには様々な提案から新しい知恵・取組を生み出すため、市民・事業者・行政が幅広く議論を重ねることのできる場づくりを進めます。

3 条例の制定の検討等

脱温暖化の加速化に向けて、基準の提示や義務を課すといった規制的な施策や、融資制度・税制等の経済的な誘導策など、様々な施策の導入が必要となると考えられます。このため、施策の実効性の担保のための「脱温暖化条例(仮称)」の制定の検討等に着手します。

4 市民・事業者・行政の協働

市民への気軽なアドバイスを可能とし、市民や事業者からの知恵を引き出し、市民・事業者の参加・協働を活性化するため、「横浜市地球温暖化対策推進協議会」を核とした協働の取組を推進します。

5 国内外の先進的な都市等との連携と情報発信

横浜市のみが独自に施策を展開するだけでなく、国や他の自治体との連携・協調した取組を進めます。国内外の温暖化対策において世界の先進的な大都市等と温室効果ガス削減の実践例や成功例を共有します。さらに、温暖化に対する課題意識を共有するため、インターネット等による情報発信も含め、戦略的な広報を進めていきます。

地球温暖化対策は、世界のあらゆるレベルで、議論・検討・研究・試行が行われており、日々新たな情報・技術等の収集、その対応策への検討が必要

最新の知見を基にして、より効果的な取組、体制を取り入れていきます！

発行 横浜市地球温暖化対策事業本部
〒231-0017 横浜市中区港町1-1
☎045(671)4103 ☎045(641)3490
<http://www.city.yokohama.jp/me/kankyuu/ondan/>



みんなで止めよう温暖化
チームマイナス6%

平成20年7月 横浜市広報印刷物登録 第200187号 類別・分類C-DM010

横浜市 Co-Do 30

2025年までに温室効果ガス排出量を30%削減！

脱温暖化に向け

「横浜市は30%OFF！」



目標

2025年度までに 一人当たりの温室効果ガス排出量 → 30%以上削減^{※1}
再生可能エネルギーの利用 → 10倍に拡大

2050年度までに 一人当たりの温室効果ガス排出量 → 60%以上削減^{※2}

※いずれも基準年度は2004年度

(横浜市地球温暖化対策地域推進計画(2006年10月改訂)において、短期目標として、2010年度までに一人当たりの温室効果ガス排出量を1990年度から6%以上削減することを定めています。)

30% OFF

まったなしの地球温暖化対策、横浜市は30%OFFに向けて先頭に立って行動し、市民・企業等全ての主体とともに新たな局面、方策を作り出し、脱温暖化都市ヨコハマを目指したまちづくりを進めます！



環境行動都市横浜のシンボル「ハマウィング」

読み方

コード

サンジュウ



Co-Do 30

Carbon Off

Do

二酸化炭素等の削減

脱温暖化行動

30%以上の削減！

※1 2004年度の横浜市の排出量からみて年間でおよそ530万tの二酸化炭素の削減であり、例えば、横浜の風力発電・ハマウィング(約1,100t-CO₂)4,800基以上、1人1日1kg削減360万人分(約130万t-CO₂)の4倍程度に相当
※2 2004年度の横浜市の排出量からみて年間でおよそ1,300万tの二酸化炭素の削減であり、例えば、横浜の風力発電・ハマウィング(約1,100t-CO₂)11,000基以上、1人1日1kg削減360万人分(約130万t-CO₂)の10倍程度に相当

横浜の将来像

- 多様なライフスタイル・事業スタイルがある中、省エネルギーの取組が徹底されるなど脱温暖化型スタイルになっています
- 太陽や風力エネルギーなどの再生可能エネルギーや未利用エネルギーの利用が定着しています
- 様々な脱温暖化の取組が横浜の魅力となり、環境ショーケースとして世界に向けて発信しています

4つの柱(基本方針)

二酸化炭素の削減につながる仕組みづくりと生活の質の向上

効果の大きい取組への政策資源の集中と先駆的な取組の推進

市場を拡大するような取組の積極的な展開

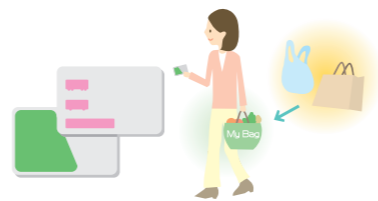
市民・事業者等との活発なコミュニケーション・協働と政策連携

7つのCO-DO(行動方針) 温暖化対策の新たな局面を作っていくために、7つの分野での行動方針を定めました。

1 生活CO-DO 一人ひとりの脱温暖化行動から社会を変える

- 市民行動を盛り上げ、市民力の発揮につなげていきます
- 市民の脱温暖化行動の選択を支援する仕組みをつくっていきます
- 家庭における3R(G30行動)を一層推進していきます

- ➔ 脱温暖化の担い手を作る「環境市民大学」(仮称)の開設
- 気軽に楽しく参加できる「横浜環境ポイント」の推進
- 「横浜市地球温暖化対策推進協議会」を核とした、市民・事業者と協働した行動を活性化する取組の推進



2 ビジネスCO-DO 脱温暖化ビジネススタイル(商品作り・サービス)から社会を変える

- 事業者による温室効果ガスの実質的な削減を進めます
- 公民協働による新たな脱温暖化ビジネスアイデアを実現させる都市を目指します
- 事業者の3R(G30行動)を更に充実させます

- ➔ 地球温暖化対策計画書制度の強化^{*}や温室効果ガス削減の評価や誘導策を組み合わせた仕組みづくり
- 省エネアドバイザー制度等による中小事業者の省エネ取組の推進
- 横浜版SBIR(Small Business Innovation Research:中小企業技術革新新制度)の拡充、先端産業の創出・育成などの技術開発を支援

※一定規模以上の事業所の温室効果ガスの排出抑制の計画や実施状況の報告を求める「地球温暖化対策計画書制度」において、計画書の公表に加え、対象範囲をコンビニやファーストフード店など業務系事業所へ拡充し、制度の実効性を向上



3 建物CO-DO エネルギー性能のよい建物(省エネ・新エネ装備)による都市づくり

- エネルギー性能の評価・格付けの仕組みづくりや経済的誘導策・規制的手法を組み合わせた仕組みづくりを進めます

- ➔ 「建物のエネルギー性能の評価・格付け制度」^{*}の検討
- 省エネルギー性能の向上、再生可能エネルギーの導入等に対する経済的誘導策の検討

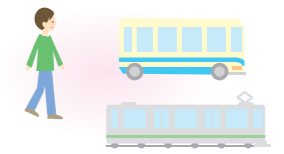
※建築物のエネルギー性能の評価・格付け(エネルギー性能、燃費、改善提案、投資回収の見通し等を分かりやすく表現したもの)を取引等(建設・売買・賃貸・広告等)の時に作成・公表することにより、取引等の当事者が、エネルギー性能の優れた建築物を選別できる仕組み



4 交通CO-DO 徒歩・自転車・公共交通によって移動できる魅力的なまちづくりと自動車の脱温暖化の促進

- 都心部で先導的な交通施策を展開します
- 徒歩・自転車・公共交通によって移動できる便利なまちづくりを進めます

- ➔ 一定エリアに流入する自動車への規制、駐車場利用への課金制度等の自動車交通の抑制に向けた仕組みの構築
- 交通事業者と商業施設がタイアップした環境ポイント制度、バス専用・優先レーンや公共車両優先システムの拡充



5 エネルギーCO-DO 再生可能エネルギーを10倍に拡大(飛躍的拡大)

- 再生可能エネルギー量を現在の10倍に拡大するためのロードマップを策定します
- カーボンオフセット^{*}の導入を進めます

- ➔ 横浜市が関与するイベントにおけるカーボンオフセットの実施
- 太陽熱利用システムの普及のための要件や支援策(設置時助成等)の検討
- 太陽光発電による電力の環境価値分の買取等、太陽光発電設備の設置負担を軽減する支援策や税制の活用など、幅広い仕組みを検討

※日常生活や経済活動において避けることができない二酸化炭素の排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される二酸化炭素についてその排出量を見積り、排出量に見合った二酸化炭素の削減活動に投資すること等により、排出される二酸化炭素を埋め合わせるという考え方



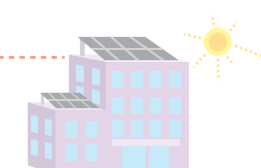
6 都市と緑CO-DO ヒートアイランド対策などを通じたみどりあふれるまちづくり

- 多くのクールスポットを創出します
- 緑をバイオマス資源供給源として活用していきます
- 土地の高度利用と緑化等の組み合わせによるコンパクトなまちづくりや、未利用エネルギーの面的な利用等を検討します

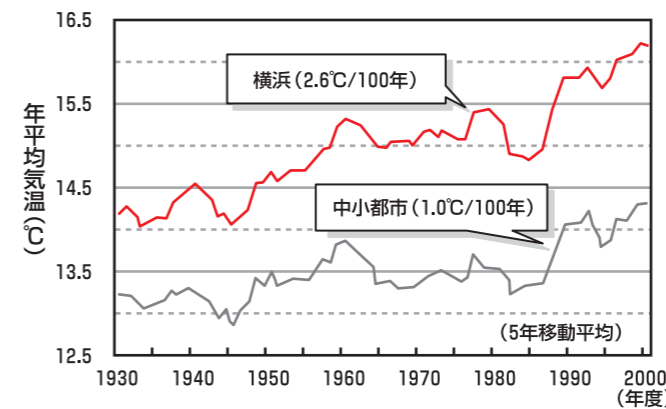


7 市役所CO-DO 脱温暖化型の市役所づくり

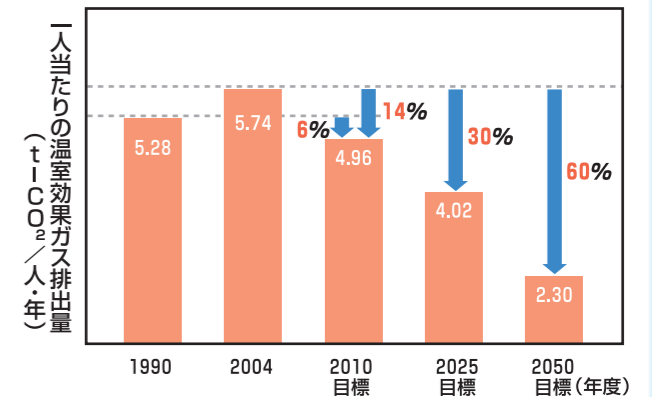
- 公共建築物等の省エネ型設備・機器の導入や省エネ改修、再生可能エネルギー(太陽光・太陽熱等)の導入を進めます
- 市役所活動を通して事業者への環境配慮行動を拡大します



横浜市の平均気温と温室効果ガス



【横浜市と中小都市の年平均気温の経年変化】



【横浜市民一人当たりの温室効果ガス排出量(目安)】